



気象庁発表 全国1か月予報(平成30年2月22日発表)

- 全国的に暖かい空気が流れ込みやすく、向こう1か月の気温は北・東日本と沖縄・奄美で高く、西日本で平年並か高い見込みですが、北日本では、期間のはじめに寒気の影響を受けるため、気温の変動が大きいです。
- 北・東日本太平洋側と西日本では、気圧の谷や湿った空気の影響で、向こう1か月の日照時間は少なく、降水量は多い見込みです。
- 沖縄・奄美では、気圧の谷や湿った空気の影響を受けにくく、向こう1か月の日照時間は平年並か多く、降水量は平年並か少ない見込みです。

気象庁地球環境・海洋部殿 納入可搬型津波観測計

この度、気象庁地球環境・海洋部殿へ可搬型津波観測計を納入させて頂きました。

気象庁では24時間体制で、全国に設置した地震計や津波観測施設などの観測データから、地震や津波を監視しており、地震や津波が発生すれば直ちに、警報や情報の発表を行います。監視には、気象庁以外の関係機関の観測データも収集し活用していますが、今回納めた可搬型津波観測計は、定点観測している津波観測施設が何らかの外的要因で観測できない状態

になった場合、観測業務を継続するため職員殿が運搬、設置を簡単にできることをコンセプトに設計されています。太陽電池を使い観測した潮位データは電子メールで気象庁に伝送され、災害時でも津波観測を継続することを目的に、今後、本装置の性能と耐久性の実証実験が計画されています。



可搬型津波観測計



定点観測用津波観測装置

気象庁/可搬型津波観測計 システム構成図

